

## 特徴的な景観を有する地域・地区における良好な景観形

市内には特徴的な景観を有する地域・地区が数多くあります。それらの地域・地区では、その地域・地区を特徴づけている景観要素に特に配慮した景観形成が必要であると考えられることから、以下のように各地域・地区ごとの「ポイントとなる景観要素」を示し、保全・活用に向けた配慮を求めます。

### 育成地区 候補地

#### ◆育成地区候補地とは◆



特徴的な景観を有する地域・地区のうち、地区の景観形成の熟度に応じて、今後、「育成地区」としての指定が考えられる地域です。

それぞれの地域において、地区住民等との協議を行い、育成地区として指定されるまでは、一般地域における景観形成基準を適用します。

#### 霧島温泉郷地区

- 背景となる樹林地とそこに昇る湯けむり
- 旅館群からなるまちなみ

#### 新川溪谷温泉郷地区

- 天降川の流れと橋、川沿いの景観
- 源泉や湯小屋、旅館
- 周囲の樹林地



#### 日当山温泉郷地区

- 天降川の流れと河川敷公園
- 河川沿いからの兩岸への眺め
- 新旧の温泉街のまちなみ

#### 霧島神宮周辺地区

- 霧島神宮の社殿
- 境内の古木・巨木をはじめとした社そう林
- 鳥居と参道、石段
- 境内からの眺望
- 祭礼の空間
- 霧島川の流れと溪谷

#### 大隅横川駅周辺地区

- J R肥薩線と大隅横川駅舎
- 歴史的な建造物とまちなみ

#### 鹿児島神宮前地区

- 鹿児島神宮の社殿
- 境内の古木・巨木をはじめとした社そう林、水路
- 鳥居と参道、参道沿いのまちなみ
- 祭礼の空間

#### 山ヶ野金山跡地区

- 金山の坑口跡や精錬所跡等の鉱山遺跡
- 石垣と庭木、狹隘(きょうあい)な道、家屋からなる集落群
- 石倉等の歴史的な建造物や屋敷地跡
- 集落を取り囲む樹林地

#### 舞鶴城下町地区

- 城下町の町割
- 背後にそびえる緑豊かな城山
- 舞鶴城跡、歴史的な建造物、石橋や石灯籠
- 石垣や生垣、門等からなる武家屋敷群の風情を今に伝えるまちなみ

# 成に関するポイントとなる景観要素



特徴ある景観を有する地域・地区

## 牧園の茶畑景観地域

- 丘陵地形に広がる茶畑
- 集落と周囲の樹林地

## 霧島川沿いの田園景観地域

- 霧島川の流れ
- 川沿いに広がる農地と集落
- 背後にそびえる霧島連山の山並み
- 緑の絨毯(じゅうたん)から菜の花畑への変化(農地が見せる彩りと季節感)

## 中津川沿いの田園景観地域

- 中津川の流れ
- 川沿いに広がる農地と集落
- 集落の背後に見える里山の緑

## 国分の果樹園景観地域

- 実りと彩りある果樹園
- 遠くにそびえる霧島連山の山並み

## 富隈城下町地区

- 富隈城跡
- 町割、石敢当(せつかんとう)

## 隼人小浜の海岸景観地区

- 錦江湾の水辺と海岸線
- 丘陵地形と集落
- 桜島、神造島への眺望

大景域の分類					
	山の景域		里の景域		まちの景域
	平地の景域		錦江湾沿いの景域		

## 網掛川沿いの田園景観地域

- 網掛川の流れてと花々
- 川沿いに広がる農地と集落
- 周囲の樹林地や里山の緑
- 遠くにそびえる霧島連山の山並み

## 空港周辺の茶畑景観地域

- 広がりのある茶畑と背景の樹林地
- 遠くにそびえる霧島連山の山並み
- 空港と離着陸する飛行機

## 福山の港・海岸景観地域

- 錦江湾の水辺と海岸線、福山港
- 海岸沿いの集落、歴史的な建物・寺社
- 背後に迫る丘陵地の緑
- つぼ畑
- 旧大隅線跡の道や公園
- 桜島への眺望





# 景観形成基準（良好な景観形成のための行為の制限）

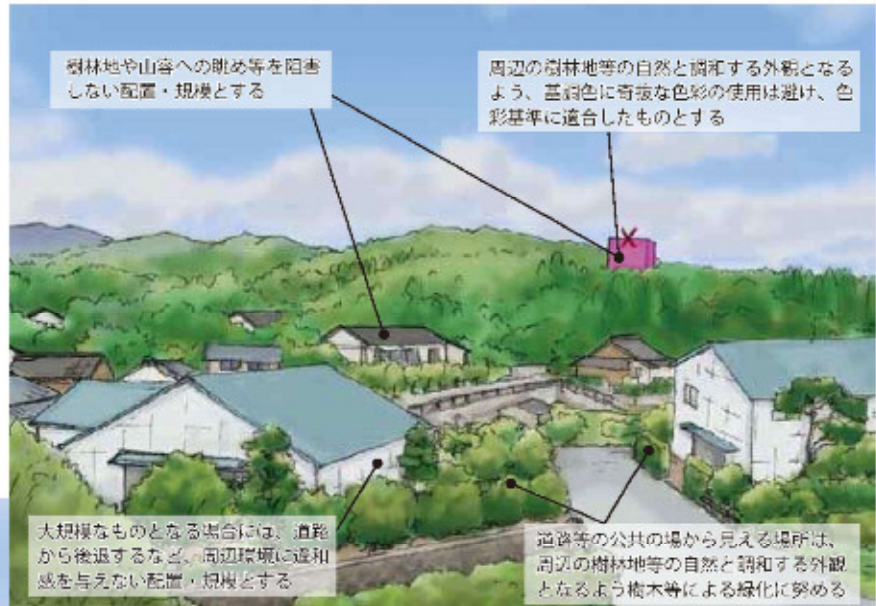
景観形成を進めるにあたり、個々の行為において、景域別に定めた景観形成基準に適合するよう配慮を求めます。また、「里の景域」と「まちの景域」のうち、「平地の景域」や「錦江湾沿いの景域」に属する場合には、両方の基準への適合が必要です。

## 山の景域における一般基準

山の景域		
項目	景観形成基準	
建築物・ 工作物	配置・ 規模	<input type="checkbox"/> 樹林地や山容への眺め等を阻害しない配置・規模とする。 <input type="checkbox"/> 大規模なものとなる場合には、道路から後退するなど、周辺環境に違和感を与えない配置・規模とする。
	形態・ 意匠	<input type="checkbox"/> 周辺の樹林地等から過度に目立たないよう、自然と調和した形態・意匠とする。
	屋外設備 等	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にするのできる位置には配置しない。やむを得ず設置する場合には、目立たないよう工夫し、外観との調和に配慮する。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周辺の樹林地等の自然と調和する外観となるよう、基調色に奇抜な色彩の使用は避け、以下に示す色彩基準に適合したものとする。 <input type="checkbox"/> できる限り、自然色に近い色相を選択し使用する。 【色彩基準】外観の基調色（屋根や壁面などで主に用いられる色彩）は、マンセル値で以下の数値内とする。 R・YR・Y系：彩度4以下      アクセント色の使用は各見付面積の1/5を超えない。 上記以外の色相：彩度2以下 （届出対象工作物のうち屋外広告物にあたるものは、鹿児島県屋外広告物条例の基準を適用する。）
	外構・ 緑化等	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から見える場所は、周辺の樹林地等の自然と調和する外観となるよう樹木等による緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 既存の樹木等をできる限り保全するとともに、自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 塀や柵等は、植栽と一体となった意匠となるよう配慮する。
	太陽光発 電設備	<input type="checkbox"/> 太陽電池モジュールは、低明度かつ低彩度の目立たないものを使用し、低反射で模様が目立たないものを使用すること。 <input type="checkbox"/> 太陽電池モジュールのフレームは、低明度かつ低彩度の目立たないものを使用し、低反射の素材を使用すること。 <input type="checkbox"/> パワーコンディショナー、分電盤、フェンス等の附属設備の色彩は、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。 <input type="checkbox"/> 道路沿いや民家等、公共の場から望見できる場所に設置する場合には、通行者・車両や民家等から直接見えないよう植栽やフェンス（不透過性のもの等）等で目隠しを行い、威圧感や存在感を軽減できるよう施工すること。 <input type="checkbox"/> 景観上、主要な眺望点から視認できる場合には、太陽光発電設備を背景の色彩と同化させることや分散して配置のうえ植栽等を用いる等、人工物の存在感を軽減させる工夫を行うこと。 <input type="checkbox"/> 尾根線上、丘陵地又は高台に設置する場合には、稜線を乱さない又は土地形状に違和感を与えることのないよう施工すること。

山の景域	
項目	景観形成基準
開発行為、 土地の開墾 その他土地 の形質の変 更	<p>造成等</p> <p>□地形を活かし、地形改変が最小限となることに配慮した造成に努める。</p> <p>□切土・盛土は最小限となるよう配慮する。</p> <p>□一団の開発に伴う法面や擁壁が生じる場合には長大なものではできる限り避け、周辺に圧迫感を与えないよう配慮する。やむを得ず長大なものとなる場合には、緑化などの措置により、周辺と調和するよう努める。</p> <p>□擁壁等は、自然素材を使用するなど、できる限り周辺の自然となじむよう配慮する。</p>
土石の採取・鉱物の 掘採	<p>□既存の樹木等はできる限り保全・活用する。</p> <p>□道路等の公共の場から地肌の露出が目立たないよう採取・掘採位置等を工夫する。</p>
木竹の伐採	<p>□道路等の公共の場から見える場所での伐採はできる限り避ける。やむを得ず伐採する場合には、伐採面積は必要最小限とするとともに、伐採の位置や方法、伐採後の植栽等で跡地等が目立たないよう配慮する。</p>
屋外における物件の 堆積	<p>□道路等の公共の場から堆積物が目立たないように、位置を工夫する。</p> <p>□堆積の高さをできる限り抑え、植栽や塀による目隠しを行うなどの配慮をする。</p>
外観照明	<p>□周辺の生活環境に配慮し、過度の明るさや動きのある照明は使用しない。</p>

## 山の景域



## 景観形成基準の解説（参考例）

### 造成等



○法面や擁壁の長大化は避け、分節化する

○やむを得ず長大化する場合は、後退と緑化等で同面と調和を図る

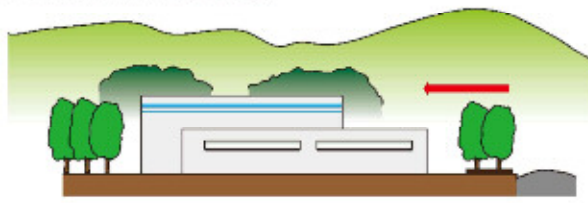


○なだらかな法面と擁壁の組み合わせ等で圧迫感を軽減する



○擁壁を設ける場合には、自然素材の使用や緑化ブロックで周囲になじむよう修景する

## 配置・規模、形態・意匠、色彩

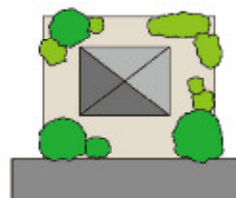


- 高層となることを避けるとともに、大壁面とならないよう分節化する
- 道路から後退し、後退用地には樹木等で緑化する
- 周囲の樹林となじむよう、外壁の基調色には奇抜な色彩は避ける

## 外構・緑化

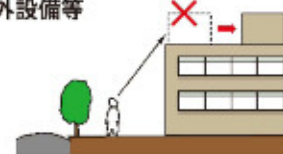


- 高木・低木の組み合わせで周囲の樹林と調和を図る
- 屋外駐車場等では、外周に植栽を施す
- 自然の植生に配慮した機種を選択する



- 道路側には樹木を植栽する
- 敷地内で緑化

## 屋外設備等



- 容易に見えない位置へ設置したり、外壁と一体的な仕様にする
- 位置を変更できない場合には、ルーバー等による目隠しを行う